



リュウキュウシラトリ（マルスダレガイ目ニッコウガイ科） *Quidnipagus palatam*

英 名：Sunset shell

大きさ：殻長 5cm、殻高 4cm ほど。

特 徴：殻の表面には、不規則な波状の彫刻がある。砂れき質の干潟で普通に見られる。

分 布：紀伊半島以南：北オーストラリア、マダガスカル。

泡瀬地区の干潟で多く観察できる。

中～低潮線のモートや干潟の礫から砂礫底に生息する。

沖縄では 40 種類ほどが知られ、マルスダレガイ科に次ぐ大群である。多くは浅海性で、河口域や内湾などの栄養分の多い海域では密度が高い。一般にいわれている「桜貝」は、本科の小型種である。